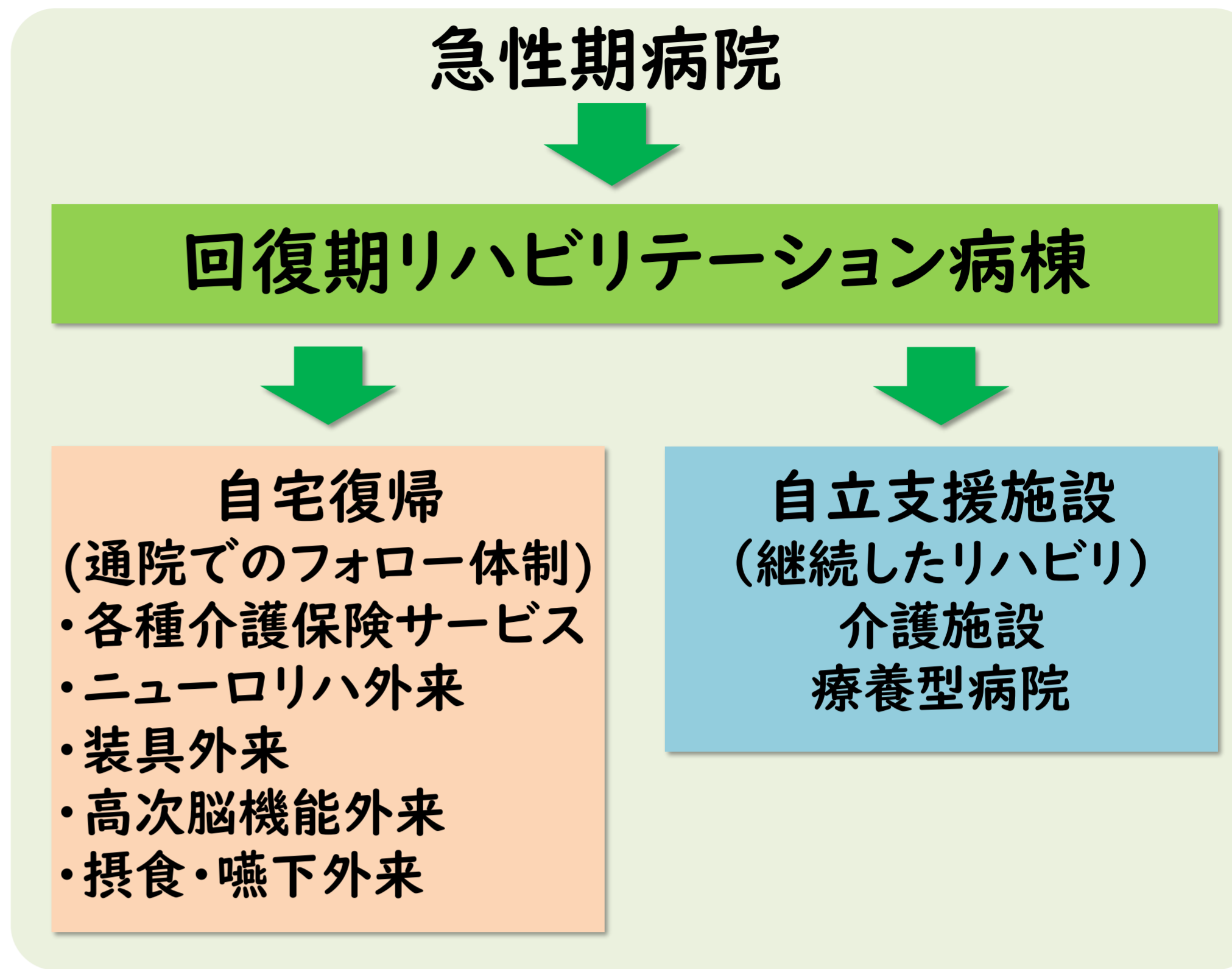


別府リハビリテーションセンター 回復期リハビリテーション病棟のご紹介

「回復期リハビリテーション病棟」とは、急性期病院から
当院に入院された方に「**地域での自立した生活**」を
目指したリハビリテーションを提供します。

入院初期から中期は、**手足や言葉の機能回復と食事・
整容・入浴などの日常生活動作の向上**を主に行い、
中期から後期は、**社会生活の練習**を中心に行います。
更に退院後生活をより豊かにするために、ご本人・ご家族の
心のケアや社会制度等の相談も行っています。



職員配置 (病床116床)

(令和3年4月現在: 外来含む)

医師: 11名

看護師: 57名

介護福祉士: 22名

理学療法士: 35名

作業療法士: 36名

言語聴覚士: 15名

医療ソーシャルワーカー: 6名

入退院支援看護師: 2名

薬剤師: 3名

管理栄養士: 3名

臨床検査技師: 3名

診療放射線技師: 3名

事務員ほか: 8名

リハ科専門医をはじめ、看護師、介護福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカーなど
専門職種を多数配置し、多職種連携により、お一人おひとりに合った最適な
リハビリテーションを行います。

医療機関としての資格・認定

- 公益財団法人 日本医療機能評価機構 病院機能評価: 3rdG: Ver. 1.0
「リハビリテーション病院」付加機能審査「リハビリ: Ver. 3.0」
- 日本リハビリテーション医学会認定研修施設(県内8施設)
- 新専門医制度 大分リハビリテーション科カリキュラム: 関連研修施設
- リハ科指導医 1名
- リハ科専門医 4名(県内23名)
- リハ科認定臨床医 4名(県内53名)
- 回復期リハビリテーション看護師 協会認定 5人
- 回復期セラピストマネージャー 協会認定 PT2名 OT1名
- 介護プロフェッショナルキャリア 段位制度評価者講習修了 CW4名
- 摂食・嚥下障害看護認定看護師 1名
- 認定理学療法士 脳卒中 3名
- 認定理学療法士 運動器 1名
- 認定理学療法士 地域理学療法 1名
- 3学会合同呼吸認定療法士 PT4名
- NST専門療法士 6名(NS, PT, PH, MT, RD)
- 認知症ケア専門士 6名(NS, CW, PT, OT)
- 大分県糖尿病療養指導士 6名(NS, PT, PH, RD)
- LSVT BIG (パーキンソン病の運動療法プログラム) 1名 (PT)



回復期リハビリテーション病棟の特徴

「すべての人が地域でしあわせに生活できる社会の実現」を基本理念とし、住み慣れた地域でその人らしい生活を続けられるよう支援しています。多職種が連携し機能回復や自宅復帰、復職、自動車運転など社会復帰に必要なリハビリテーションを提供しています。
また、外来リハビリや障害者支援施設『にじ』、介護保険事業（通所リハビリ、訪問リハビリ）など退院後もフォローアップができる体制を整えています。



多職種による入院時の合同面接の場面

【 身体機能のリハビリ 】

一人ひとりの障がいを見つめ、「身体能力の向上」と「日常の活動能力の向上」を目指したリハビリテーションを行います。

【 言語機能のリハビリ 】

失語症、構音障がい、摂食・嚥下障がいなどの障がいに対し、発声や発語、嚥下機能の向上を目指したリハビリテーションを行います。

【 高次脳機能のリハビリ 】

記憶障がい、注意障がい、遂行機能障がい、社会的行動障がいなど、高次脳機能障がいにみられる特徴的な症状に対してリハビリテーションを行います。

回復期リハ病棟の環境・レク・機器・施設紹介

リハビリテーションに適した環境

ゆとりある個室、源泉かけ流しの大浴場など、リハビリテーションを行う皆様にとって快適な生活空間



自然を感じられる周辺環境



訓練用温泉プール



個室



4人部屋

四季折々の様々なイベントやレクリエーション



大人気のかき氷 <夏祭り> 館内を回るお神輿



クリスマス会のbuffet料理

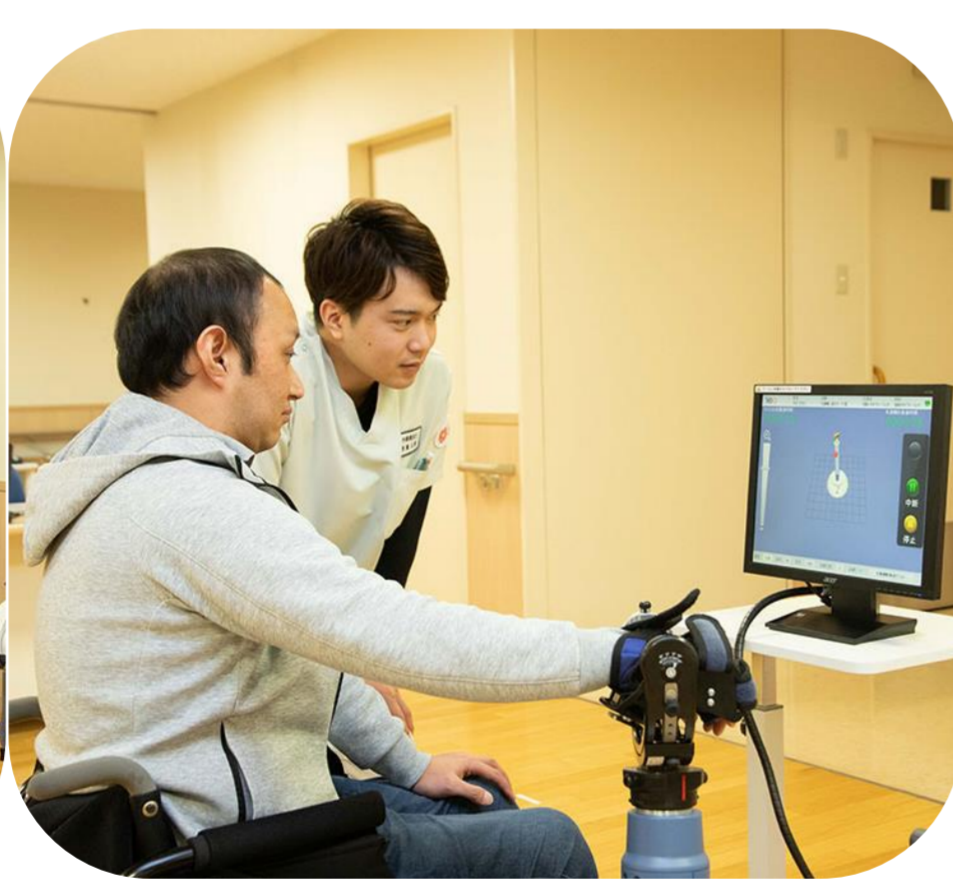


病棟でのレクリエーション

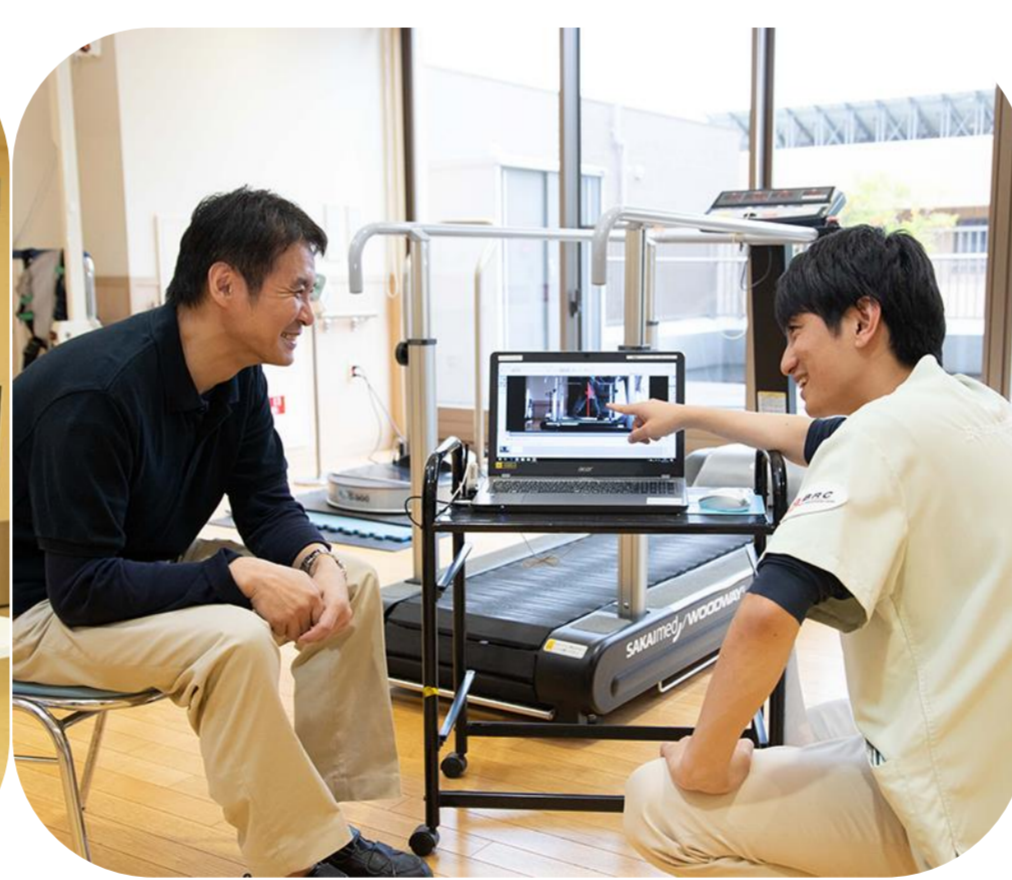
先進的なリハビリテーション



歩行訓練ロボット
(トヨタ ウェルウォーク)



上肢用運動訓練装置
(ReoGo®-J)



動作解析ツール
(ダートフィッシュ)



各種電気刺激療法機器を活用した
上下肢のリハビリテーション



自宅復帰、社会復帰に向けたリハビリ



自動車運転のリハビリ



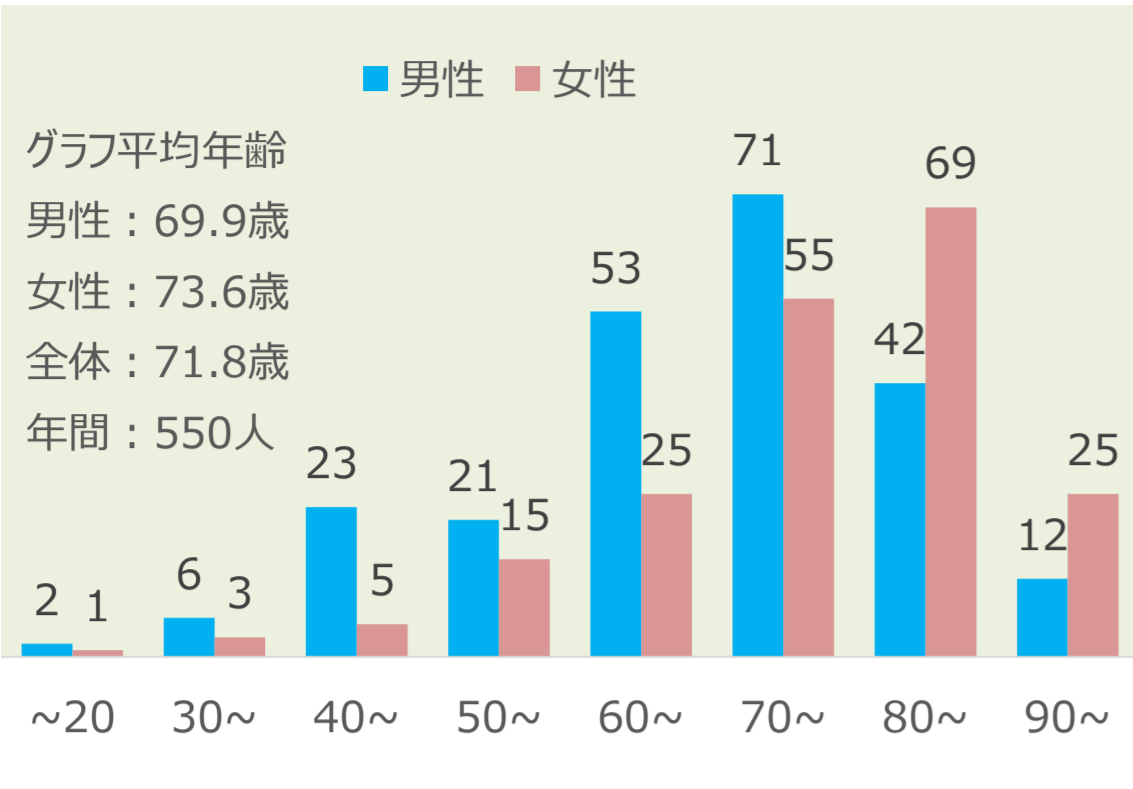
掃除の訓練



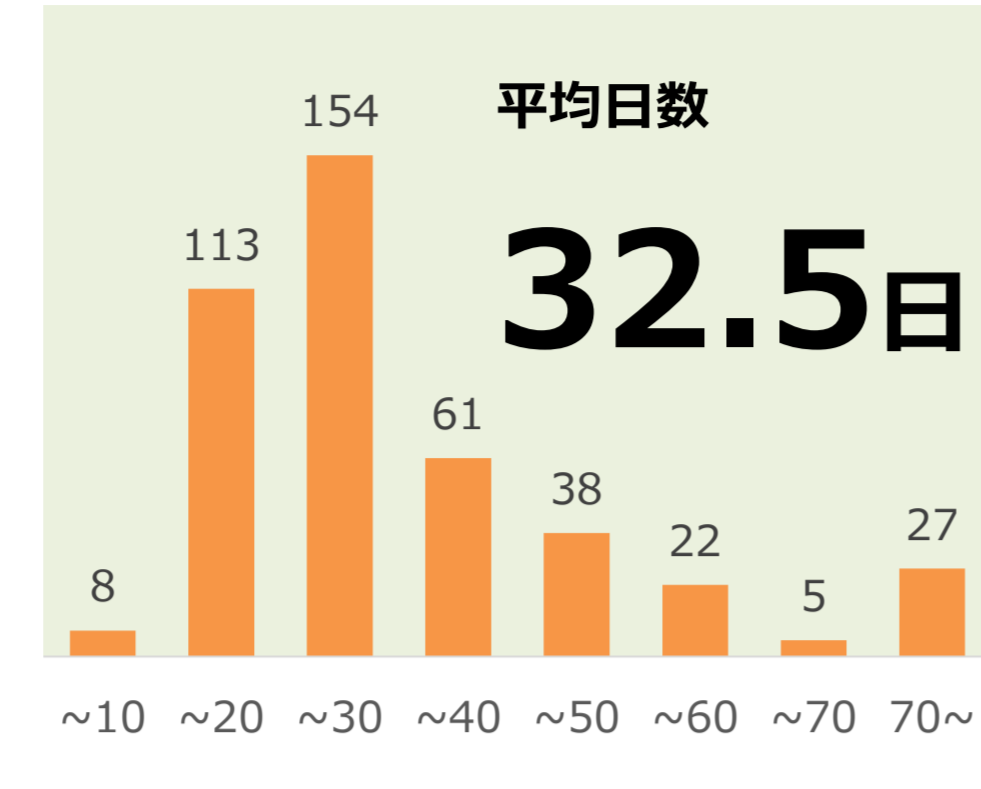
自宅訪問による住環境調整・動作指導

回復期リハビリテーション 2020年度実績

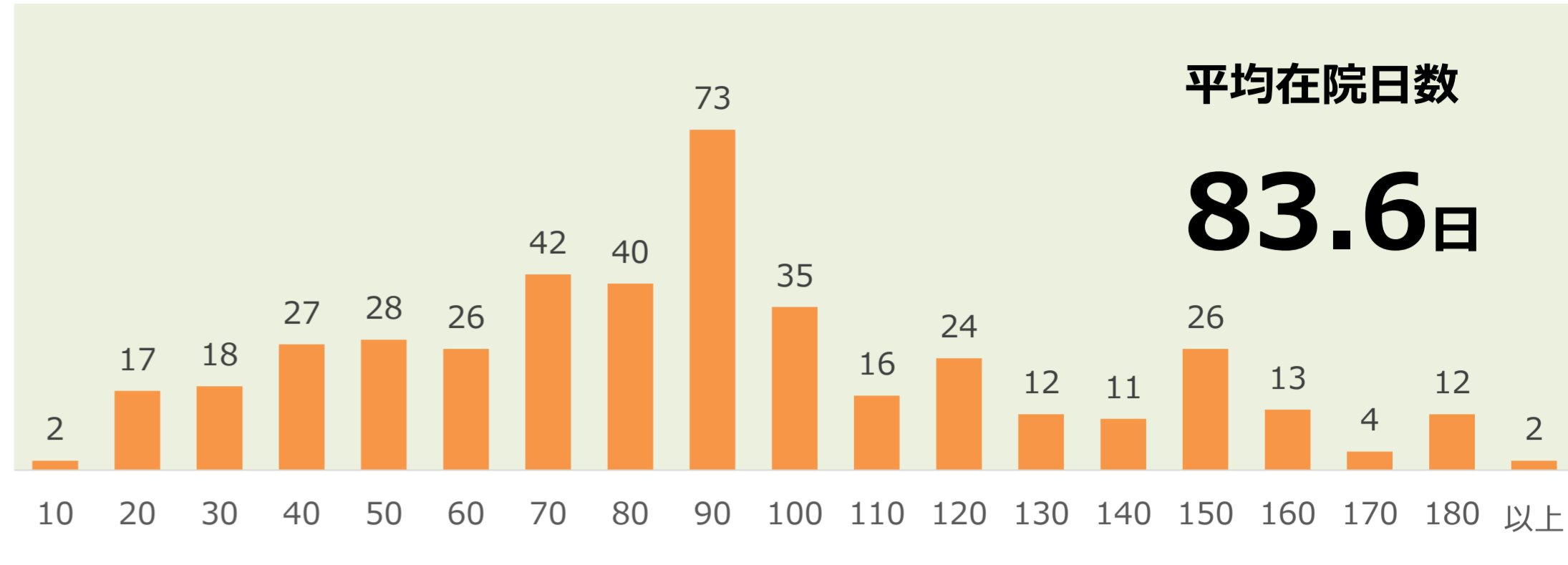
性別・年齢



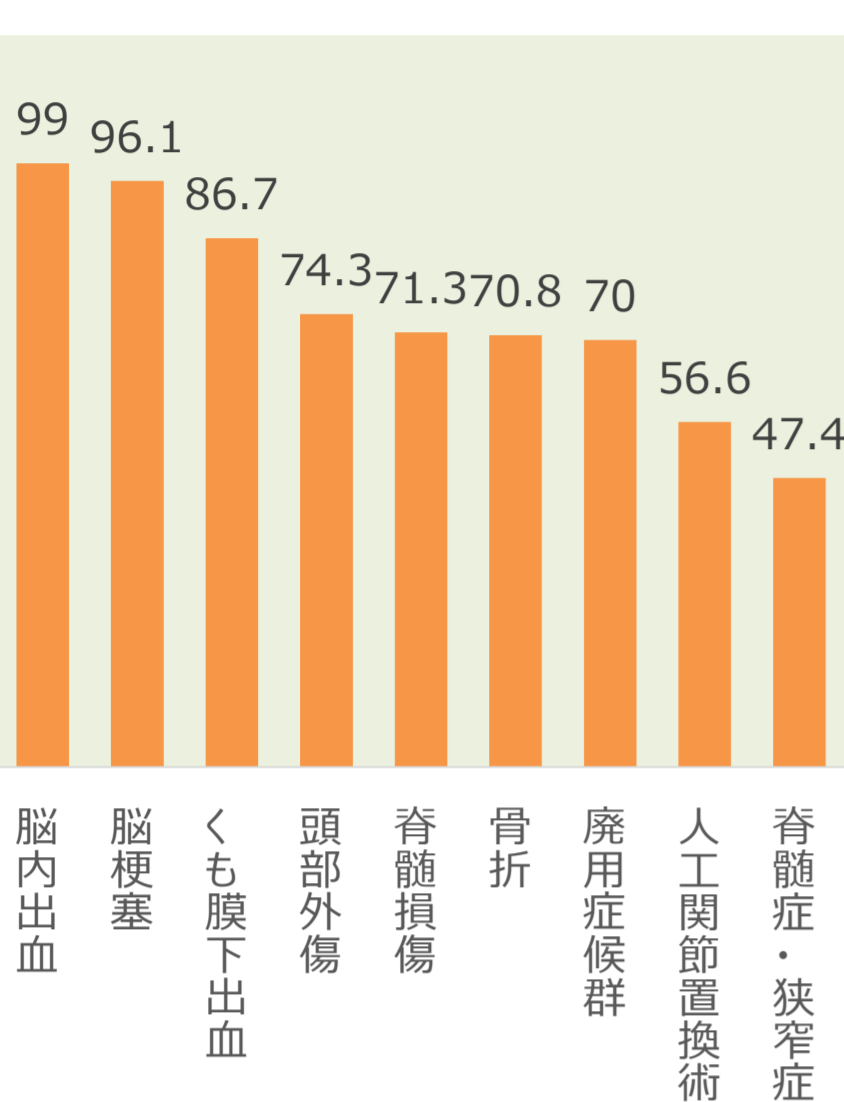
発症～入院までの期間



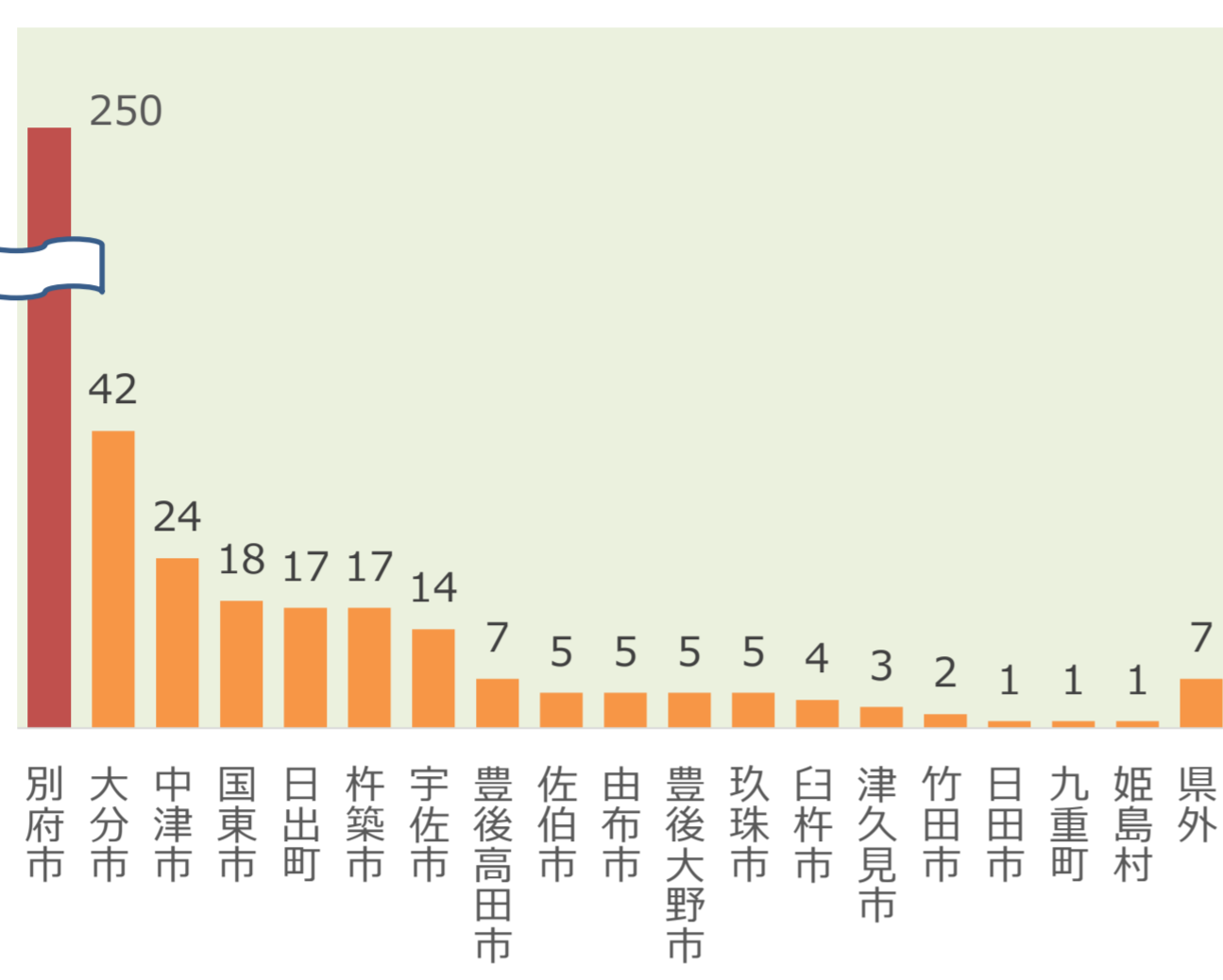
入院期間(日)



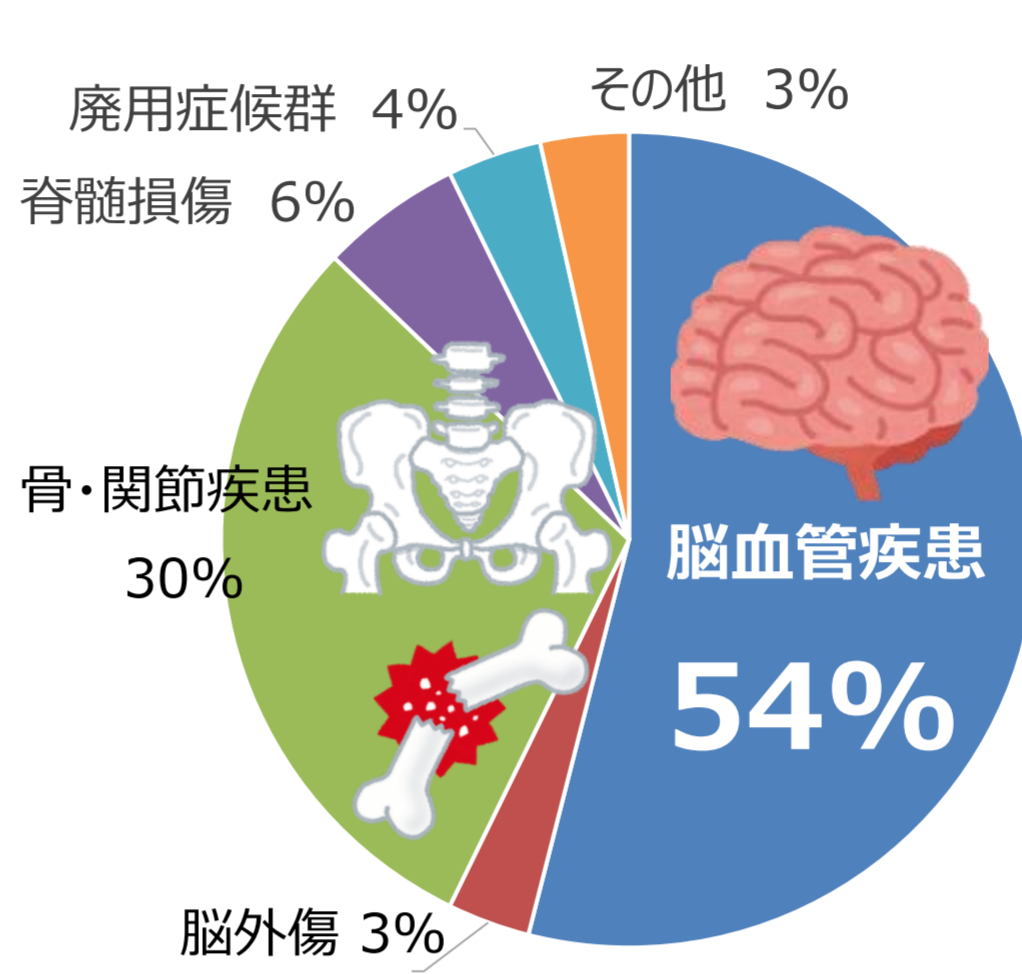
疾患別平均在院日数



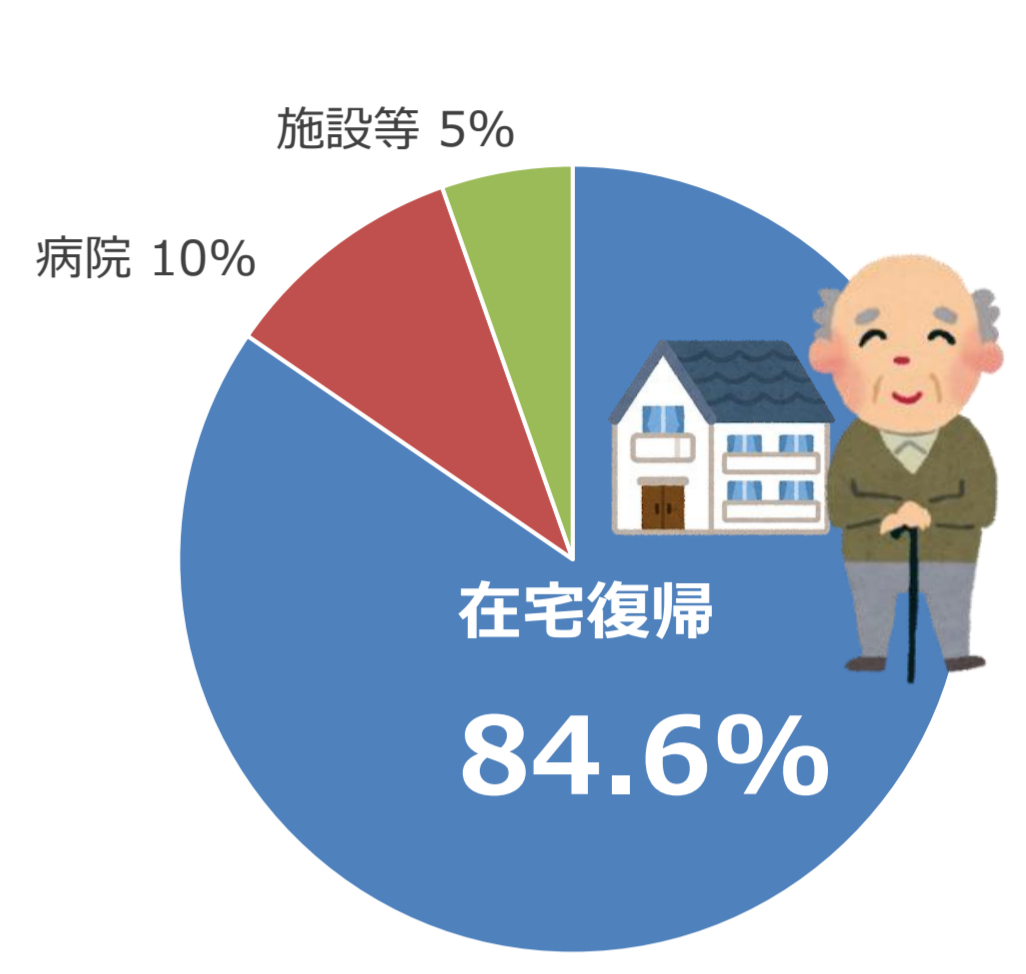
患者住所(人)



疾患分類割合



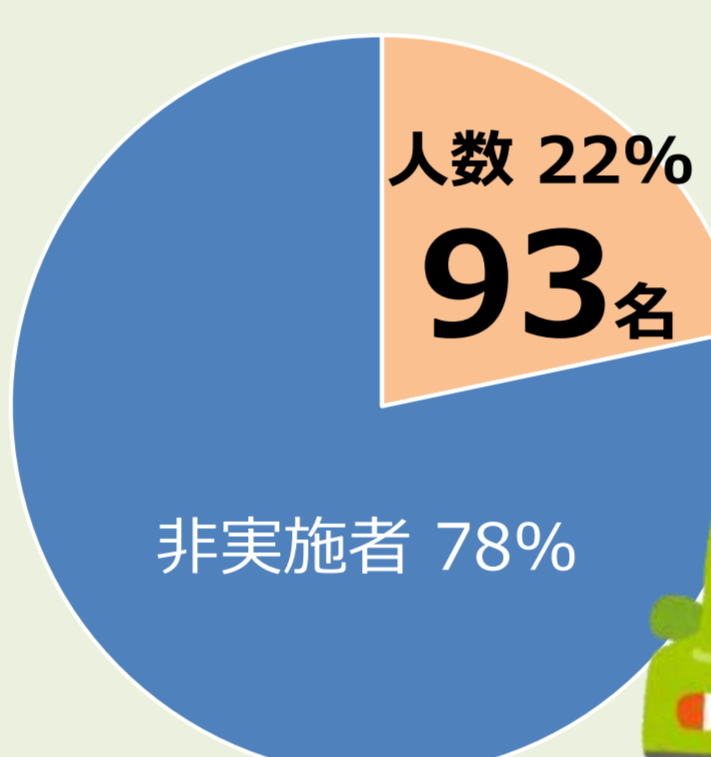
転帰先



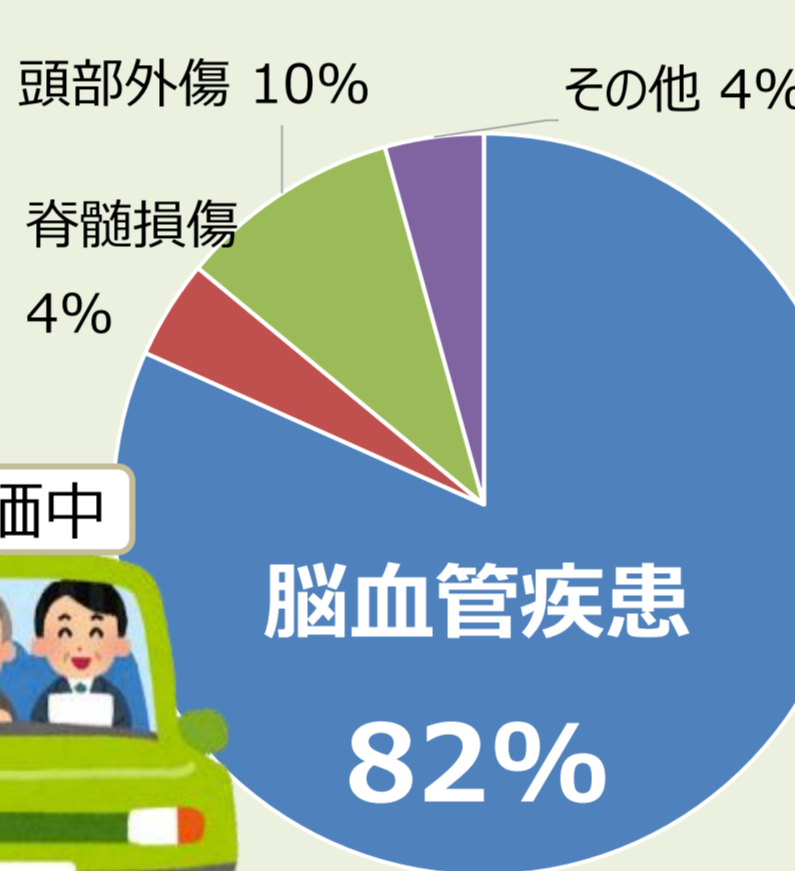
自動車運転評価実施状況



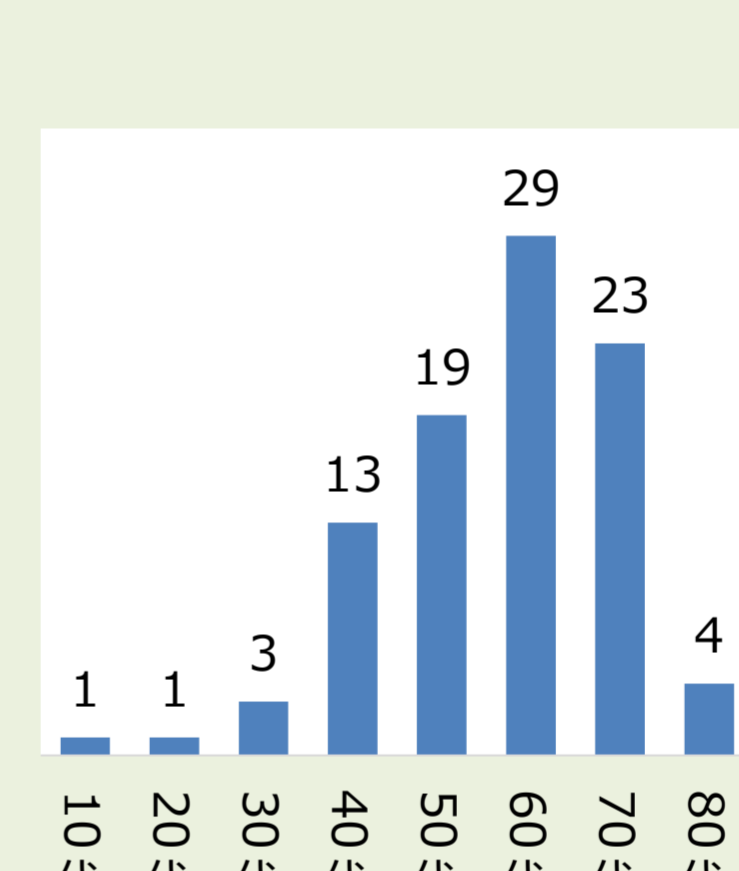
全入院患者中運転評価実施者割合



運転評価者疾患割合



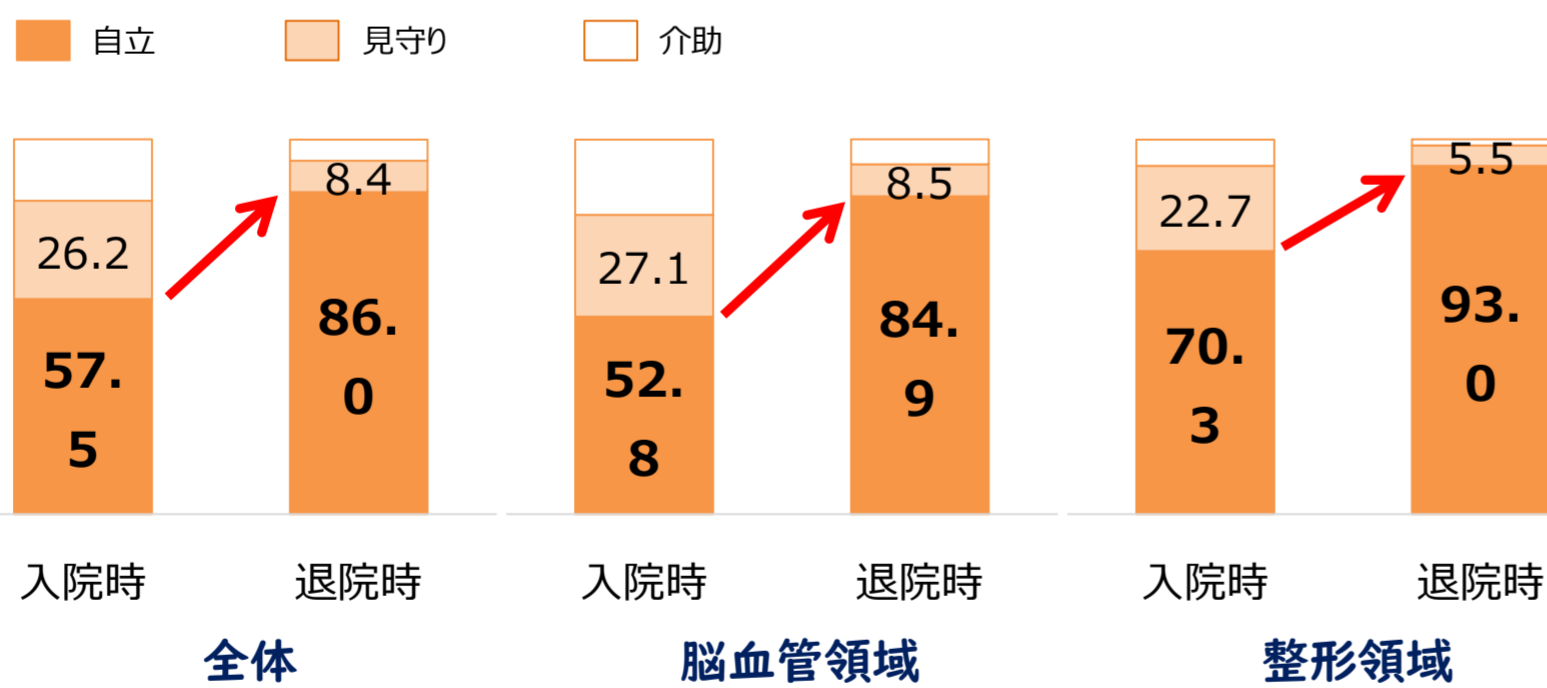
運転評価者年齢分布



公安委員会
提出用
診断書作成

リハビリテーション効果 < 入院時 → 退院時 機能的自立度評価 > Functional Independence Measure (FIM)によるADL評価 単位：%

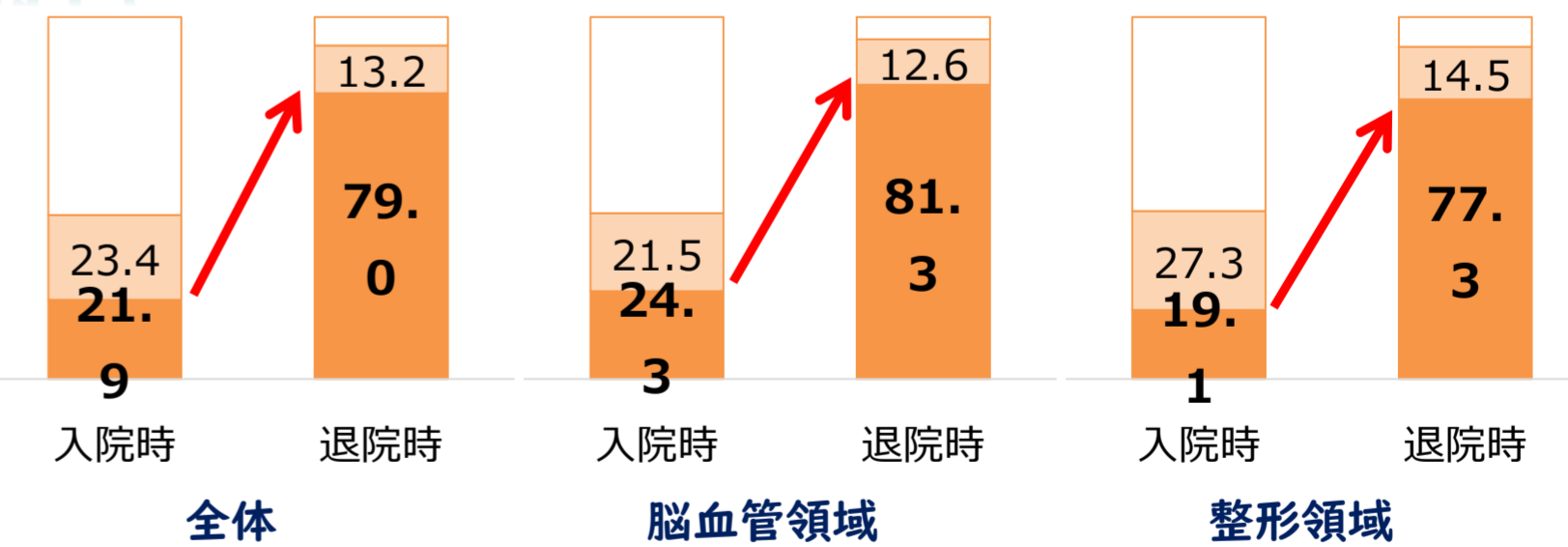
食事



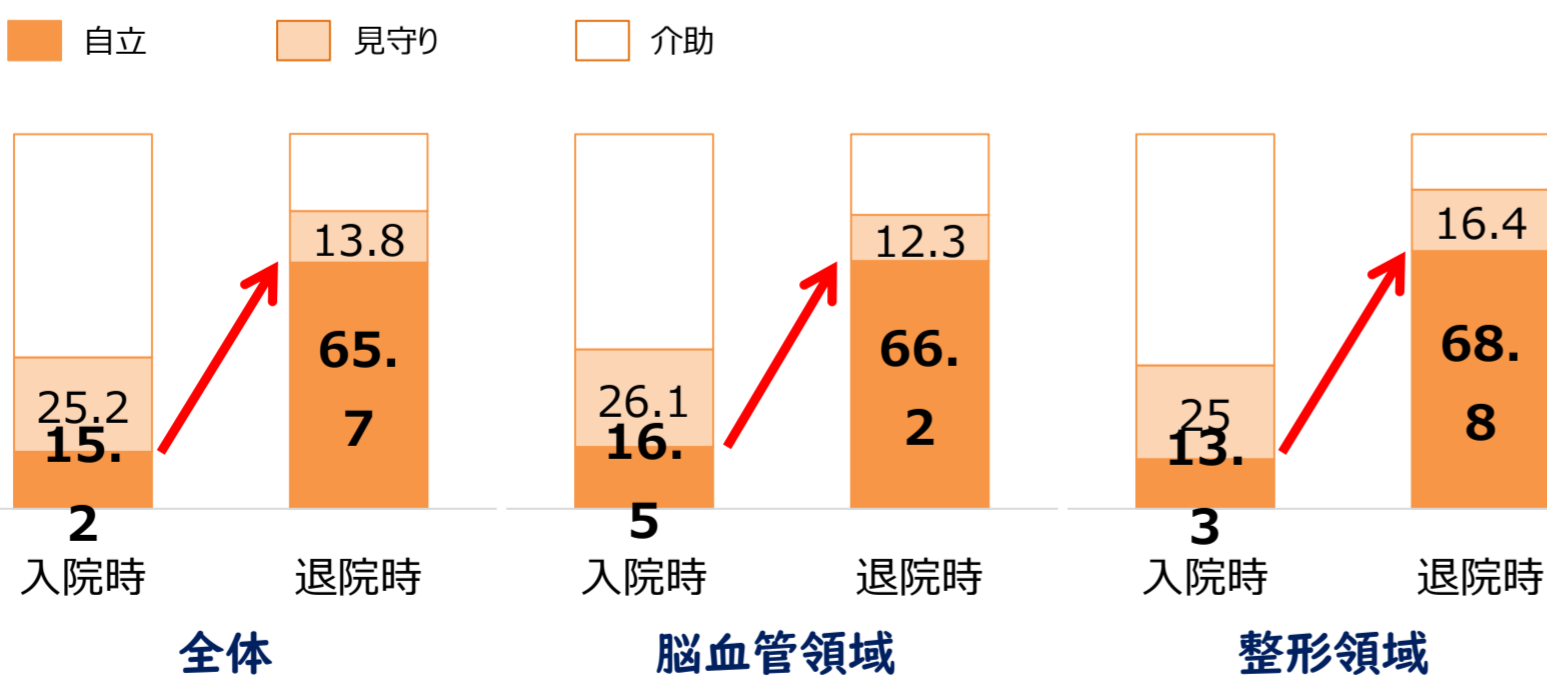
移動(歩行)



入院患者428名中で、333名の方が歩行状態で退院され、その内92.2%の方は自立歩行(見守り含む)可能でした。



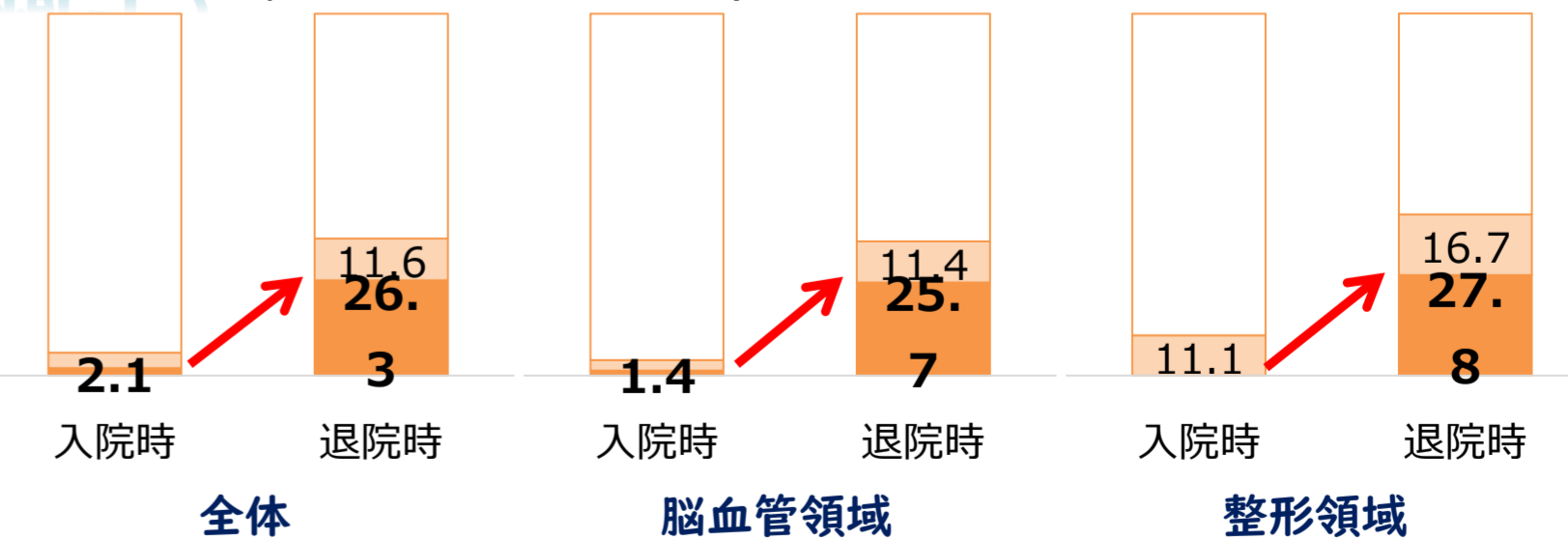
入浴



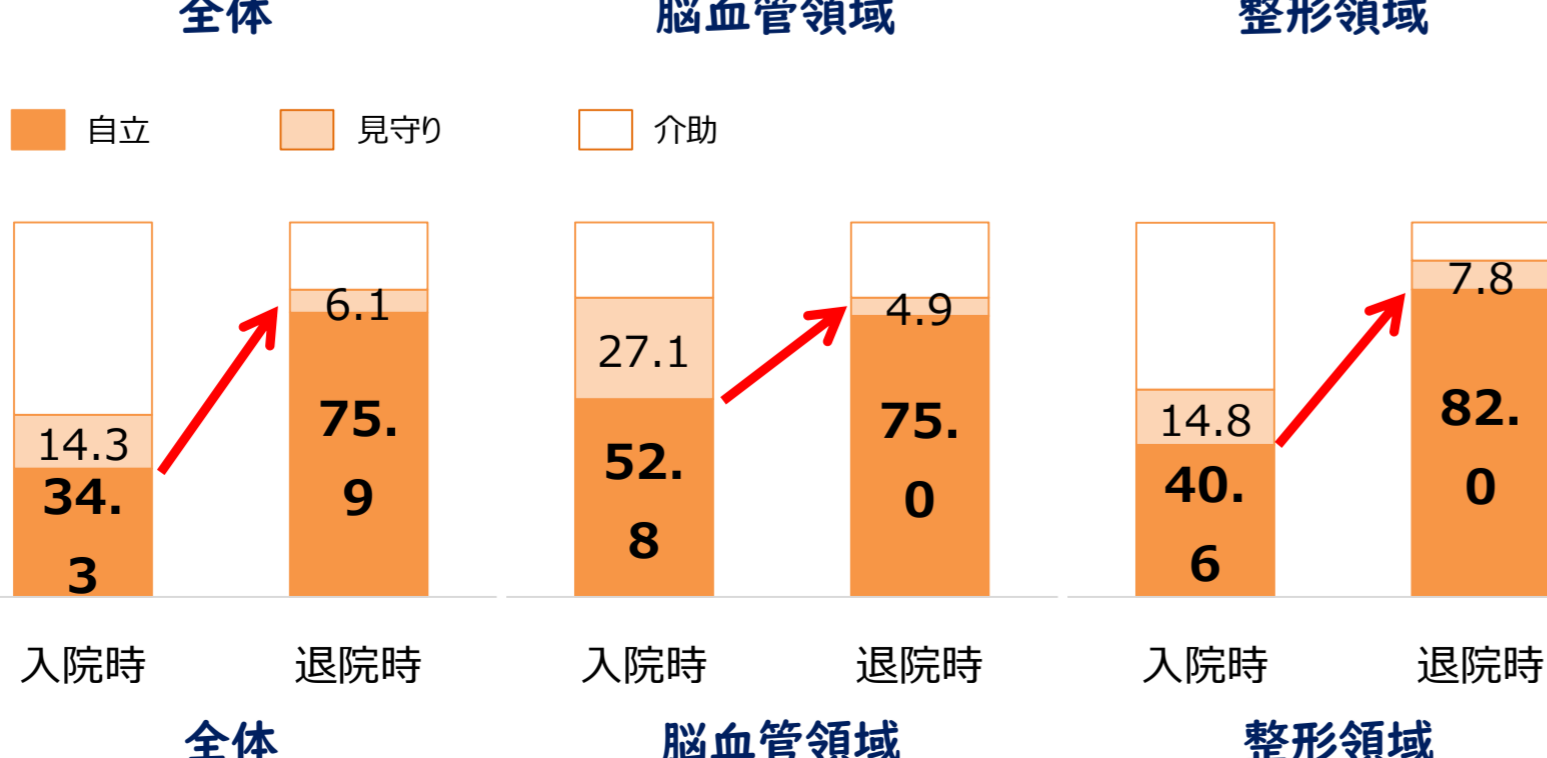
移動(車椅子)



95名の方は車椅子にて退院されました。その内35.2%の方は車椅子自走(見守り含む)可能でした。



トイレ



経管栄養改善



入院時に経鼻栄養チューブ等にて経管栄養をされていた方11名の36.4%は退院時には3食お口から食事を摂取できるように回復されています。また、18.2%の方は経口と経管栄養併用まで回復されています。

